

☆くしろ市議会だより

News from
Kushiro City
Assembly

2019年
2月
No.59

発行 釧路市議会
編集 議会広報特別委員会
釧路市黒金町7丁目5番地(議会事務局)

TEL 31-4581

FAX 23-7679

メールアドレス
gi-gikai@city.kushiro.lg.jp

URL ホームページ
https://www.city.kushiro.lg.jp/shigikai/index.html

フェイスブックページ
https://www.facebook.com/kushiroshigikai



次回の2月定例会は、2月22日(金)午前10時から開会の予定です。

ぜひ、傍聴に
お越しください!

就任あいさつ



議長
草島 守之

このたび、1月臨時会において、議長に就任いたしました。まことに身に余る光栄であり、その責任の重さに身の引き締まる思いでございます。

議会は、多様化する市民の意思を的確に反映するとともに、将来に向けたまちづくりの展望をもって広い視野に立って審議し、意思決定する責務を有すると考えます。

議会基本条例の精神にのっとり、市民の福祉の増進と本市のさらなる発展に向けて、皆さまの負託に応えるべく努力してまいりたいと存じます。

議長として、公平、公正かつ、円滑な議会運営に最善を尽くしてまいりますので、市民の皆さまには、議会活動になお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさついたします。

渡辺 慶藏 議長 逝去



渡辺慶藏議長(市民連合議員団)が昨年12月20日に逝去されました。

渡辺議員は、6期25年にわたり市議会議員を務められ、平成29年5月には議長に就任されました。議長就任後は「釧路市議会災害対応指針」の策定を手掛け、災害に強いまちづくりを鋭意取り組むなど、市政発展のためご尽力されました。

慎んでご冥福をお祈りいたします。

議会日程

10/12,11/2

議会広報特別委員会

11/29

議会運営委員会

石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会

12/3

都心部市街地整備特別委員会

12月定例会(会期10日間)――

12/5

本会議

市政報告

提案説明

質疑・一般質問

12/6,7

本会議

質疑・一般質問

12/10~13

常任委員会審査

石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会

12/13

議会広報特別委員会

12/14

常任委員会採決

本会議

委員長報告

採決

1/11

議会運営委員会

1月臨時会(会期1日間)――

1/18

本会議

議長選挙

委員会委員改選

一部事務組合等議員互選

12月定例会の概要

12月5日(水)に始まった釧路市議会第4回12月定例会は、12月14日(金)に10日間の会期を終え閉会しました。

開会日の冒頭、市長より「J-R北海道単独で維持困難な線区への対応」、「観光大使の任命」、「国際バルク戦略港湾 釧路港 国際物流ターミナル完成式」、「エンジン01in釧路」、「イランカラプテくしろさつぽろ国体の開催準備状況等」などについて市政報告がありました。

本会議の質疑・一般質問では、14人の議員が登壇し、防災対策、まちづくり、環境問題、福祉施策、観光施策、教育行政などに関する質問があり、多岐にわたる議論が交わされました(2・3面参照)。また各委員会においては、補正予算のほかそれぞれの所管事項についての審査を行いました(3面参照)。

14日の本会議採決では、30年度一般会計及び特別会計補正予算など11件の議案のほか、「認知症施策の推進を求める意見書」、「商業捕鯨再開を求める意見書」の2件の意見書を原案どおり可決しました(4面参照)。

(文責 議会広報特別委員長 松尾和仁)

議会報告会を開催しました

今年度の議会報告会は、10月23日(火)から26日(金)までの4日間、昨年2月に移転オープンした「中央図書館」をはじめ、市内4会場で開催し、89名の市民の皆さまにご参加いただきました。

報告会では、9月定例会での質疑・一般質問や、各委員会での審査内容を紹介した後、参加された皆さまとの意見交換を行いました。

会場からは、9月に発生した胆振東部地震に関連して、防災に関する質問等があったほか、多彩なテーマでの意見交換が行われました。皆さまとお話した内容は、今後の議会議論に生かしてまいります。また、今回の議会報告会では、これまでより幅広い年齢層の方や、女性の皆さまに多数ご来場していただきました。議会報告会は、今後実施してまいりますので、普段、感じている疑問や、より良いまちにするためのご意見などを伺い、率直に意見交換させていただきたいと考えております。なお、当日の意見や開催概要等をまとめた報告書を、2月上旬ごろに市議会ホームページで公開する予定です。ぜひ、ご覧ください。



▲10/26 音別コミセン



▲10/25 コアかがやき



▲10/24 コア鳥取



▲10/23 中央図書館

会派略称説明

自民ク 自民クラブ
市政進 市政進クラブ

市民連合 市民連合議員団
公明 公明党議員団

共産党 日本共産党議員団
新創ク 新創クラブ

市議会ホームページで発言通告一覧をご覧ください。



12月5日(水)～7日(金) | 今定例会では、14人の議員が登壇しました。その中から主な質問と答弁をお知らせします。

12月5日(水)

「東アジアへの観光プロモーション強化を」
伊東 尚悟議員
自民党

問 観光客誘致に向け、イコロのユニバーサルや幣舞橋のライトアップなどの取り組みが進められているが、観光立国シヨークケースで設定した宿泊者数の目標達成のためにも、東アジアへの観光プロモーションを、より強化すべきではないか。

答 これまでの取り組みで得られた、新たな観光資源の魅力をどのように発信していくかは、非常に重要であり、今後、誘客の対象となる国ごとのニーズや志向、旅行形態の違いを意識して、旅行会社へのアプローチやSNSによるタイムリーな情報発信をすることにより、実際の誘客につなげていきたい。

「SNSによる釧路港の情報発信を」
河合 初恵議員
公明

問 クルーズ客船が釧路港に入港した際など、多くの市民や外国人観光客が写真撮影などを楽しめるよう、インスタグラムのハッシュタグやSNSフレームを活用して情報発信を行ってはどうか。

答 今年度は、クルーズ客船2隻の同時入港の記念としてフォトコンテストを行ったが、来年からは、港のにぎわいをPRするためにも、年間を通して行う予定である。全世界に向けて釧路港をPRするためにも、インスタグラムでの情報発信などの視点も含め、研究していきたい。

「阿寒高校存続に向けた具体的な取り組みは」
松永 征明議員
市政進

問 北海道教育委員会では、地域キヤンパス校である阿寒高校について、「地域連携特例校」とした上で、在籍者数の基準が下回った場合の再編整備を条件付きで留保としている。この意味を踏まえた同校存続への具体的な取り組みを聞きたい。

答 これまで実施してきた通学費助成等を継続していくとともに、今後更に様々な施策を講ずるために、まち・ひと・しごと創生総合戦略に、阿寒高校存続を位置づける中で、学校や地域ともしっかりと連携を図りながら、取り組んでいきたい。

「防災対策として携帯電話基地局の電源状況確認を」
工藤 正志議員
共産党

問 先般の地震による大規模停電では、携帯電話の基地局のバッテリーが切れ、通話やインターネットでの情報取得が不可能となった。防災対策の観点から、市として各携帯電話会社に基地局のバックアップ電源の状況を確認し、その内容を市民に公表すべきと考えますが、見解を聞きたい。

答 携帯電話基地局の全容を把握していないが、NTTドコモについては、報道にもあったとおり、非常用バッテリー増強の取り組みを進めていると聞いている。KDDI(au)、及びソフトバンクについては確認を行っている状況である。

「まちづくり高校生世代までの意見を取り入れる機会を」
宮田 団議員
市民連合

問 子どもの権利条約の理念を基に、釧路のまちづくりについて、より積極的に高校生世代までの子ども達の意見を聴く機会を持つべきと考えますが、見解を聞きたい。

答 まちづくり基本構想策定時に実施した中学生アンケートでは、「釧路市に住み続けたい。」等との答えが6割以上に上るなど、愛着心やまちづくりへの関心の高さが読み取れ、策定市民委員会の議論にも生かされたところである。今後とも、次代を担う子どもたちが、積極的にまちづくりの議論に参加する機会の確保に努めていきたい。

12月6日(木)

「東京オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致に向けた取り組み」
大越 拓也議員
新創党

問 2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックでの直前合宿誘致のためには、前年の事前合宿誘致が必須であることから、本年12月に予定の市長のベトナム訪問では、ホストタウンとしての強力な誘致活動を、市長自らが行うべきではないか。

答 12月に予定の訪越では、ベトナム文化スポーツ観光省スポーツ総局の障がい者スポーツ課や、パラリンピック協会に訪問予定であることから、事前合宿の受け入れ条件や協定締結に向けた話し合いを行っていききたい。

「町内会加入率向上に向けた条例の制定を」
三木 均議員
自民党

問 釧路市連合町内会によると平成30年3月末現在の町内会加入率は43.9%で、下降に歯止めがからない状況である。地域や企業、団体への協力要請など、これまでの取り組みに加え、市民全体が問題を共有するために、町内会加入促進条例を制定すべきではないか。

答 札幌市では、平成31年4月の条例施行を目指し、町内会の役割、市の責務、事業者の役割などを定める内容で議論を重ねていると聞いている。当市においても、情報収集に努め、町内会加入促進に向けた取り組みを、積極的に進めていきたい。

「使用済み紙おむつの収集を無料に」
松橋 尚文議員
公明

問 使用済み紙おむつは、現在、可燃ごみ袋で収集されているが、これを分別し、透明な袋で可燃ごみ収集日に出しても新たな収集コストはかからず、無料収集が可能になると考えるが、見解を聞きたい。

答 無料収集に新たなコストはかからないと想定しているが、排出者において透明な袋を用意したり、分別を徹底してもらふこととなる。来年度、環境省から示される予定の「使用済み紙おむつのリサイクルを促すガイドライン」を参考とし、どのように対応すべきか、検討していきたい。

「国保料における子ども均等割に減免制度を」
村上 和繁議員
共産党

問 現在の国民健康保険制度では、世帯における子ども人数が増えると、その分、均等割保険料も増えることになる。釧路市の単独事業として、子どもに限定した保険料の均等割を減免する制度を検討すべきではないか。

答 「子どもの被保険者に係る均等割保険料の軽減制度」については、現在、全国統一基準により実施されている所得の低い世帯に対する保険料軽減制度と同様に、国保制度全体の中で検討していくべき課題と考えており、全国市長会や知事会等が連携する中で、制度の創設について国へ要望しているところである。

「冬季国体を観光コンベンション事業の柱に」
松尾 和仁議員
市民連合

問 イランクラブづくしろさっぽろ国体の開催に当たり、単に競技大会としてだけでなく、観光コンベンション事業の一つとして位置づけ、観光産業振興の経営戦略を構築すべきではないか。

答 市では、「第二期観光振興ビジョン」において、スポーツ大会を「MIC産業強化戦略」の事業の一つとして位置づけ、取り組むこととしている。地元における大会の開催は、観光産業への波及効果も高いことから、今後、受け入れ環境の整備などに努め、誘致の取り組みを進めていきたい。

委員会審査

3 常任委・2 特別委

今定例会では3常任委員会と2特別委員会の審査を行いました。その中から主な審査内容をお知らせします。

理事者は、「鉚路を離れた人に戻って来て就職してもらうためには、小さい頃からのキャリア教育や地元企業についての情報提供が大切であり、現在行っているUIJターンの取り組みに、さらに力を入れていくことが重要だと考えている。」と答えました。

総務文教常任委員会

金安 潤子 委員長

「UIJターンの取り組み」若者へ地元企業の情報を

「鉚路市まち・ひと・しごと創生総合戦略には、進学や就職で高校卒業後に鉚路を離れる若者が多いという状況が示されているが、安定した人口の確保のために、若者に向けたUIJターンや地元企業に関する情報提供が必要ではないか。」との質問がありました。

経済建設常任委員会

山口 光信 委員長

「市営住宅」空き部屋の修繕で入居促進を

「11月に行われた市営住宅の入居募集では、新築の「新・川北団地ふたば」に対し99件の突出した申し込みがあるなど、新しい団地ほど入居希望が集中する傾向があるとの報告があったが、春日団地など建設年次が比較的新しい住宅の空き部屋を集中的に修繕し、入居の促進を図るべきではないか。」との質問がありました。

民生福祉常任委員会

松橋 尚文 委員長

「鳥取支所駐車場」イトーヨーカドー鉚路店閉店後の利用は

「イトーヨーカドー鉚路店の閉店に伴い、同店駐車場内にある鳥取支所の駐車場の確保に関しては、除雪なども含めどう対応していくのか。」との質問がありました。

石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会

森 豊 委員長

「国への予算要求」研修対象国の増加も踏まえた取り組みを

「北海道石炭対策連絡会議による中央要請を行ったが、国の海外産炭国に対する炭鉱技術研修事業について、鉚路コールマインの受け入れ対象国が増える中で、技術者の対応や経費的な部分での負担が大きくなっている面も考慮し、国に対しては、予算を増額するよう取り組みをすべきではないか。」との質問がありました。

都心部市街地整備特別委員会

村上 和繁 委員長

「鉚路都心部まちづくり計画」基本構想編案案について

「鉚路都心部まちづくり計画「基本構想編」の素案には、施策の方向性と実現に向けた行動目標が示されているが、今後の取り組みはどのようになるか。」との質問がありました。

理事者は、「入居申し込みの多い住宅や低層階の部屋を中心に、ニーズを踏まえた修繕を進めており、今後予算編成作業の中で、全体のバランスも考慮しながら対応していきたい。」と答えました。

理事者は、「鳥取支所の駐車場については、同店とは別の会社との契約となっており、現段階で相手方から使用等に関する特段の申し入れはない。除雪に関しては、駐車場の出入口など必要なスペースは確保されることになっており、その他の部分で大きな変更がある場合には申し入れがあるものと認識している。」と答えました。

理事者は、「予算の確保に向けては、鉚路コールマインや北海道などと相談しながら取り組んでいる。今後も、研修事業の継続をはじめ、石炭産業の長期存続に向けて、しっかりと取り組みたい。」と答えました。

理事者は、「基本構想編案は、パブリックコメントを行い、市民意見を反映したうえで、成案化を図っていききたい。施策の方向性と実現に向けては、検討組織をはじめ、公民連携の取り組みにより、民間の方々とも取り組めるものから進めていきたい。」と答えました。

本会議

12月5日(水)～7日(金)

質疑・一般質問

●12月7日(金)



新創ク 森 豊 議員

「桂恋漁港内の施設整備予定について」

問 桂恋漁港においては、基盤施設の老朽化等に伴う防波堤からの越波により、生産活動や漁具の保管などに支障を来しているという。漁港管理者の北海道により、どのような施設整備が進められているのか示してほしい。

答 同港の西側新港では、浸水を防ぐための護岸のかさ上げ工事が行われているほか、老朽化が進んでいる東側旧港では、屋根付耐震化岸壁への改良のほか、港内静穏度維持のための東護岸、東防波堤、南防波堤、第一西防波堤の改修、および船揚場への滑り材の設置などの工事が、順次行われると聞いている。



自民ク 草島 守之 議員

「道内7空港の一括民営化に対する市の認識は」

問 国内における空港の民営化が着々と進められている中、道内では7空港の一括民間委託という、他県にはない初めての手法がとられることに対する市の認識を聞きたい。

答 現在、道内では新千歳空港に路線が集中し、他の空港の施設が利活用されていない状況にあるため、7空港を一括して民間に委託し、施設の有効活用を図ることで、道外からの直行便も含めた道内航空ネットワークが充実して利便性が高まり、各分野への経済波及効果が期待できるものと認識している。



共産党 梅津 則行 議員

「基金を住宅の修繕や子どもの医療費の助成拡充に活用を」

問 「使える基金」(平成28年度の市の各種基金残高のうち借入分を除いたもの)83億円の1割(1億円)を活用することで、市営住宅200戸の修繕や、子どもの医療費助成の対象年齢の拡充ができるかと考えるが、見解を聞きたい。

答 今年度は、持続可能な財政運営を進めるため、総合戦略事業などの将来を見通したまちづくりに資する事業への投資として、基金を繰り入れることとした。一般財源額の減少傾向が続くことが見込まれる中、除雪費や災害対応等、突発的な財政需要に対応するため、一定程度の基金残高を確保すべきと考えている。



共産党 松永 俊雄 議員

「市立病院の新棟建設における基本設計は無駄使用ではないか」

問 市立病院の新棟建設は、基本設計もやり直しとなり、規模の縮小も避けられない見通しである。前委託業者との訴訟で返還を求めている基本設計分の予算は、無駄になったと考えるが、見解を聞きたい。

答 前委託業者による基本設計が、白紙となる事で無駄になったという解釈は、ある面では正しいと考えるが、新たな基本設計を作成していく上で、院内での協議をはじめ、さまざまな部分で生かせるものであると考える。市立病院が、地域にとって重要な地方センター病院の役割を果たしていくために、新棟建設をしっかりと進めていきたい。

用語解説

- ※1 **ハッシュタグ**
ツイッターなど、SNS上に投稿する際、特定のキーワードにハッシュマーク(#)を付けたタグ(しるし)。タグ化されることで、同じキーワードでの投稿を閲覧でき、同じ趣味、同じ関心をもつ人同士での話題の共有が可能となる。
- ※2 **SNSフレーム**
インスタグラムやフェイスブック、ツイッターなどの画面をパネルにしたもの。写真部分が切り抜かれた窓のような仕様。
- ※3 **地域連携特例校**
第1学年1学級の小規模な学校であっても、地域連携協力校などと連携し、教育環境の充実を図るほか、地域と連携して、学校の魅力化や特色づくりを進める北海道独自の制度。
- ※4 **ホストタウン**
オリンピック・パラリンピックの開催に当たり、全国各地の自治体が、事前の合宿地になるなど、大会に参加する国や地域の「おもてなし」役になる制度。

【意見交換会を開催しました】

市議会では、今年度からの新たな取り組みとして、テーマを設定し関係団体との「意見交換会」を開催しております。

第2回目となる今回は、11月16日（金）に阿寒町橋南センターにおいて、阿寒農業協同組合女性部の皆さまと「阿寒町のまちづくり」をテーマに行いました。

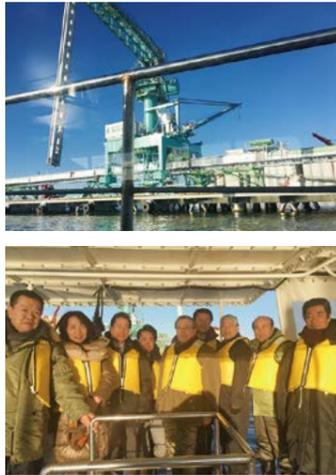
同女性部からは15名の方にご参加いただき、地域の交通に関して、高齢のご家族の運転を心配しながらも車以外の移動手段の確保が難しく、また子どもの通学にも不便を来しているという現状についての声が寄せられたほか、阿寒町では現在、保育事業が実施されておらず、保育機能の早期確保を求める意見などがあり、地域が抱える切実な課題についての認識を新たにしました。

意見交換会は、今後もさまざまなテーマにより実施してまいります。



【経済建設常任委員会（市内視察）】

経済建設常任委員会では、12月13日（木）に、11月に完成した釧路港国際物流ターミナルを視察しました。同ターミナルは、国の国際バルク戦略港湾の選定を受け整備を進めていたもので、当日は洋上からバルク関連施設の状況を確認し、市の担当者から説明を受けました。今後は、大型船による穀物の一括輸送が可能となり、釧路港の物流機能がさらに高まるとともに、地域経済への波及効果も期待されています。



【民生福祉常任委員会（市内視察）】

民生福祉常任委員会では、12月12日（水）に光ケーブルのリサイクルを行っている株式会社日本総合施設釧路工場を視察しました。

道内では廃棄された光ケーブルを埋め立てにより処分することが多い中、同工場は光ケーブルを破碎処理した後、金属を除いたものを助燃材としてリサイクルしており、今後、リサイクルが進むことで、産業廃棄物の削減が期待されます。



【釧路地方林活議連設立20周年記念講演会が開催されました】

釧路管内の市町村議員で構成され、森林・林業・林産業の活性化のため、要請行動や現場視察などに取り組んでいる「釧路地方森林・林業・林産業活性化推進議員連盟協議会」が、今年設立20周年を迎えました。これを記念する講演会が、11月12日（月）、北海道水産林務部林務局長・本間俊明氏を講師に迎えて、「北海道の林業・木材産業の活性化に向けた施策の展開方向」をテーマに市内のホテルで開催されました。



【会派の離脱】

12月1日付で、自民クラブから、高橋一彦議員の会派離脱届が提出されました。これに伴い、同議員は会派無所属議員となります。

議長選挙に伴い、委員会構成の一部に変更がありましたので、お知らせいたします。

議会運営委員会（7人）

委員長	三木均
副委員長	大越拓也
委員	伊東尚悟
//	松橋尚文
//	鶴間秀典
//	梅津則行
//	松尾和仁

石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会（8人）

委員長	森豊
副委員長	佐藤勝秋
委員	草島守之
//	工藤正志
//	秋田慎一
//	畑中優周
//	松永征明
//	岡田遼

平成30年第4回12月定例会審議結果

◎ 全会一致で可決となったもの（12件）

市	長	提出	議案
予算	条例	平成30年度 一般会計補正予算	市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
		平成30年度 動物園事業特別会計補正予算	特別会計条例等の一部を改正する等の条例
		平成30年度 病院事業会計補正予算	市立音別認定こども園条例
		平成30年度 水道事業会計補正予算	市道路線の認定の件
		平成30年度 港湾整備事業会計補正予算	桂恋漁港内公有水面埋立ての件 釧路フィッシャーメンズワープ及び釧路市東港区北地区緑地の指定管理者の指定の件
意見書	議員提出	議案	認知症施策の推進を求める意見書（提出先：衆・参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣）

◎ 賛否が分かれたもの（2件）

件名	議員提出								審議結果
	会派名〔（ ）内は議員数〕※	自民ク(6)	市民連合(5)	共産党(4)	市政進(3)	公明(3)	新創ク(3)	会派無所属議員(1)	
意見書	商業捕鯨再開を求める意見書（提出先：内閣総理大臣ほか2大臣、内閣官房長官）	○	○	○	○	○	○	×	可決
	2019年10月からの消費税10%への増税中止を求める意見書（提出先：衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか2大臣）	×	○	○	×	×	×	×	否決

※ 市民連合の議員数は6人ですが、渡辺議長が欠席したため5人としています。
 ※ 市政進の議員数は4人ですが、採決時の在席者数として3人としています。
 ※ 公明の議員数は4人ですが、秋田副議長が採決に加わっていないため3人としています。

平成31年第1回1月臨時会審議結果

議案	議長付議
互選	釧路公立大学事務組合議会補欠議員互選の件 釧路広域連合議会補欠議員互選の件